



校長室だより



第5号

平成30年5月9日(水)
聖心ウルスラ学園聡明中学校・高等部

【避難訓練に向けて】

本校は、海が近い地域ですので、津波まで想定して、11日(金)に地震と津波対策として、避難訓練を実施します。



本校の避難場所は、聖心ウルスラ学園本館の屋上になります。

今回の避難では、聡明の生徒が付属幼稚園の園児を介助支援(手を引いたり、場合に応じては抱き抱える)することになっています。どうか、優しいお兄さんやお姉さんとして振る舞って欲しいと思います。

また、何時どの時間で震災が襲ってくるかは誰にも分かりません。そのために、自宅や登下校の場合における避難場所についてもご家庭で確認をとっていただくと幸いです。

また、「津波てんでんこ」や「ひなん三原則」についての認知もよろしく願います。

「津波てんでんこ」とは

津波がきたら、各自てんでばらばらに一人で高台に逃げる。自分の命は自分で守る。

「ひなん三原則」とは

- 1 想定にとられるな
→ 自然現象としてあらゆる事態が起こる
- 2 最善を尽くせ
→ その状況下でできる限りの行動をとる
- 3 率先避難者たれ
→ 集団心理が働き、多くの人を救う

【土曜日は、PTA総会です】第1回参観日

12日(土)は、本年度最初の参観日です。

学級懇談の後は、PTA総会も予定しています。

保護者の皆様の来校をお待ちしています。



《当日の日程》

- ・授業参観 8時50分 ~ 9時40分
- ・SHR 9時40分 ~ 9時50分
- ・学級懇談 9時50分 ~ 10時40分
- ・PTA総会 10時50分 ~

【君たちはどう生きるか】くろしお(5月6日付宮日新聞より)

親友3人が上級生から理不尽な鉄拳制裁を受ける。その場にいあわせた僕。「他に仲間がいるなら出てこい」と言われて、本来は真っ先に飛び出し盾になるはずだったがー

ベストセラーになっている「君たちはどう生きるか」(吉野源三郎著)に、究極の選択ともいべき場面がある。結局、僕ことコペル君(あだ名)は恐怖から無関係を装ってしまう。しかし親友を裏切った強い悔恨にさいなまれ、学校に行けず自宅で悶々と過ごす。

それにしても戦前の自己啓発本が、漫画版が出るほど今読まれているのはなぜだろう。先行きが不安になると哲学がよく読まれるというが、いつの時代にも共通する悩みがある。まじめに生き方を考える本が注目されるのはうれしいことだ。

一生懸命に悩み、考えるコペル君。だが中学生では思考に限界がある。立派なことを考えても、現実の前に打ちのめされた先述の体験もある。そんな時、考えるヒントをくれるのがインテリである若いおじさんだ。一緒に悩み、自分で考える力を付けるよう努める。

小学校で道徳が教科化されて1カ月がたつ。中学校では来春からの導入だ。正義とは。本当の勇氣とは。道徳に関わる問題に簡単な答えはない。評価を実施しないのは当然だ。どう指導すべきか現場では教員が頭を悩ませているだろう。

本を読み、経験を通して、複数の選択肢の中で子どもは揺らぐ。そんな時重宝するのが、おじさんのような身近な案内役だ。身近な大人が道徳について考え、手本となる生き方を見せているか。「大人はどう生きるか」も問われている。

「親の背を見て子は育つ」のことわざもあります。今、手本となる大人の生き方が問われています。

【今後の主な行事】

月日	行事内容
5/10(木)	内科検診(中2~高3)
5/11(金)	地震・津波避難訓練(4限)
5/12(土)	参観日 PTA総会